

50. コミュニティカフェでの高齢者の集いとボランティア活動

グループ名 甲子園のつどい場 いちご畑
代表者 峯本 工

① 活動の目的

- ・西宮市が推進する空き家利用の「つどい場」として地域の高齢者が気軽に集い、ボランティア活動をする。
- ・地域住民の孤立化を防ぎ地域でゆるやかに見守るとともに災害時に備えた支援体制づくり、高齢者の介護予防、認知症予防のためのシニアボランティア活動を拡充する。
- ・地域の子どもの居場所と彼らへの見守り支援に関わる退職男性ボランティアの掘り起こしと多世代交流による見守りにより安心・安全なコミュニティの形成を目指す。

② 活動概要

・経過

平成 26 年 4 月、認知症家族会有志を中心に「つどい場」を開設、月 1 回（第 3 土曜日）コミュニティカフェを実施している。その後、参加者の状況や地域ニーズの把握により、平成 28 年 5 月、名称を「甲子園のつどい場 いちご畑」とした。地域住民のカフェへの参加が増え、しかもボランティアもほとんどが 65 歳以上という状況になり、つどい場参加者、ボランティアともに地域中心へと変化し、地域のつどい場として定着しつつある。

開室当初から月 1 回のカフェでは、参加できる場づくりとしてミニコンサートを企画し、それを楽しみながら一緒にお茶の時間やおしゃべりをする機会を心がけた。コンサートの企画に対して参加者から要望が出たり出演者の紹介があったり、次第に活動参加型のつどい場へと展開し、カフェ開催に必要な備品提供やお菓子づくりなどいろいろなボランティア協力も増えてきたため、さらに、地域に潜在するいろんな力を発揮し、ここに集う以外に日常的にゆるやかに見守り合えるコミュニティづくりの工夫を考えるようになった。

・本年度活動と成果（3つの活動計画）

i コミュニティカフェ

従来のコミュニティカフェのミニコンサートは少しずつ知られるようになり音楽好きな地元参加者が増え、中には「いちご畑」テーマソングを作曲して下さり、みんなで歌おうという場面もみられ、高齢者がほっとくつろげる場になり、活動が安定してきた。

ii 「シニアサロン講座」

平成 28 年 9 月、大同生命厚生事業団に助成申請し、あらたに「シニアサロン講座」（月 1 回、第 2 木曜日午後）を開くことになった。人生経験や趣味豊かな高齢者の持つ力を発揮していただき、互いに学び合い刺激し合う目的の講座である。高齢者の多彩な趣味や高度な知識、技術を持つ方にそれを分かち合う機会を設けることにより、高齢者自身が誇りと喜びを感じて、積極的に社会的交流を持つよう促すことを目指している。

約 1 年間の「シニアサロン講座」活動の経過をふりかえると、これこそシニアの望ましい集いの場となってきたことが成果としてあげられる。一方的にコンサートを楽しむカフェとは異なり、少数ながら打ち解けて話しが交わせる雰囲気居心地よさを生みだしており、参加者がさまざまな話題を通して繋がり広がっている。また、ボランティア自身がほとんど 70 歳以上で、ボランティア活動そのものが介護予防、認知症予防につながると考えられるように、生きがいや人びととの出会い・つながりを喜びとして元気に活動していることがあきらかである。ボランティア仲間の誰かが近隣の気になっている方、たとえば最近、子ども家族に呼び寄せられて転居してきた高齢者や家族の介護で外出もできない方に気分転換につどい場への参加を呼び掛けたりする中で、互いに知り合い、声かけ合える新たな関係が地域で生まれている。

iii 「子どもの居場所づくり」

助成申請時のあらたな取り組み「不登校や学習障害の子どもを対象とした居場所づくり」と校区内の子どもの健全育成のための退職高齢男性ボランティア育成については、当該対象児童を特定把握することが難しく、実施に至らなかったが、従来のコミュニティカフェにおいて 8 月（夏休み）、3 月（春休み）に、通常のコニコンサートに代わり多世代交流プログラムを実施しており、これら対象児童も含めて自然な形で子ども達が参加している。このイベントではシニアボランティアが子どもの工作教室指導、手作り楽器の披露など特技を活かした世代間交流ができています。居場所づくり事業そのものは、小学校、中学校や自治会・子ども会との密な連携が必要なことから、もう少し時間をかける必要がある。

・1 年間の活動一覧

平成 28 年 9 月から平成 29 年 8 月までの 1 年間のつどい場活動は、これまでのコミュニティカフェと新規のシニアサロン講座の 2 つ、以下の一覧表のとおりである。

*コミュニティカフェ（第 3 土曜日）

H28 年	ミニコンサート	出演者等	参加者	ボランティア	備考
9 月 17 日	女性コーラス	山崎令子さん他	11	9	秋を歌う
10 月 15 日	薩摩琵琶演奏	上野多美子さん	11	5	伝統芸術鑑賞
11 月 19 日	プサルター演奏	赤松理恵さん他	10	8	手作楽器演奏
12 月 17 日	ゴスペルクワイア	関学大学生 10 名	22	10	クリスマス会
H29. 1 月 21 日	日本舞踊	歌川寿千さん他	7	8	新春を祝う舞
2 月 18 日	ギター弾き語り	安井雅彦さん	7	9	昭和の歌
3 月 18 日	多世代交流	子ども&ママ	58	9	多世代の演奏
4 月 15 日	ヴァイオリン演奏	中森崇人さん他	10	12	3 周年記念行事
5 月 20 日	オルガン演奏	橋本亜矢子さん	10	7	教会音楽
6 月 17 日	ピアノ弾き語り	あおいみなさん	9	7	若者のライブ
7 月 15 日	フラダンス	橋本亜矢子さん	6	8	常夏のダンス
8 月 19 日	多世代交流	子ども&高齢者	21	10	工作・楽器演奏
活動集計	全 12 回	出演者計 45 名	182 人	102 人	

*シニアサロン講座（原則：第2木曜日）

H28年	講座内容	講師	参加者	ボランティア
9月8日	煎茶点前	今政康子さん	2	6
10月13日	認知症サポーター養成講座	増尾千代美さん他	7	5
11月14日	健康体操	有馬鉄哉さん	5	7
12月8日	和手ぬぐい部屋キャップ	山上恵子さん	2	6
H29.1月12日	筆文字	安井雅彦さん	1	6
2月9日	伝統・折り形	神澤佳子さん	8	5
3月9日	海外医療支援活動	乾真理子さん	15	5
4月13日	正しい薬の飲み方	入江俊彦さん他	4	7
5月11日	かぎ針編み（コースター）	玉川佳子さん	5	7
6月8日	音楽療法（講義と体験）	小竹敦子さん	6	7
7月6日	スウェーデンの高齢者福祉	アンバッケン夫妻	9	9
8月10日	終戦の日に寄せて（鼎談）	中島悠紀さん他	5	9
活動集計	全12回	講師：18名	69人	79人

・活動の様子（写真）

*コミュニティカフェ・ミニコンサート（左下：薩摩琵琶演奏、右下：ヴァイオリン合奏）



*シニアサロン講座（左下：部屋キャップの制作、右下：戦争体験談とお煎茶点前）



*シニアボランティア及び参加高齢者と子ども達・ママ達との多世代交流



左上：シニアボランティアによる
夏休み工作教室の指導
右上：シニアボランティアによる
手作り楽器・篠笛の演奏
左横：中学生の楽器演奏を楽しむ

以上の活動詳細は、HP (<http://2bancho.net>) でニュースとして毎月更新報告している。

③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支出	年間茶菓費用 平均菓子代@2,100×12=25,200 コーヒー、ミルク&砂糖等 6,330	31,530円
	・カフェミニコンサート年間演奏謝礼 @5,000×2=10,000、@3,000×3=9,000、 @2,000×5=10,000	29,000円
	・シニアサロン講座年間指導料&謝礼 @5,000×1=5,000、@2,000×9=18,000	23,000円
	・シニアサロン講座材料費 筆ペン、パステル 9,828、折り形和紙 4,104、 かぎ針、毛糸 2,638	19,539円
	・多世代交流(年2回)出演&指導謝礼、交通費 @10,000×1=10,000、@5,000×1=5,000	15,000円
	・多世代交流イベント材料費、茶菓、食材、消耗品	19,508円
	合計	137,577円